

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月8日

協議会名: 十日町市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
南越後観光バス(株)	十日町車庫前＝新水＝菅沼＝ 後山＝浦佐駅東口＝魚沼基幹 病院線	該当なし	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	B ・沿線地域の人口減少により、利用者数は、目標「前年比100%を上回る」(R4.10～R5.9: 8,180人)に対し「前年比92.9%」(R5.10～R6.9: 7,602人)であった。 ・燃料費の高騰及び利用者数の減少による収益の悪化により、収支率は、目標「前年比100%を上回る」(R4.10～R5.9: 17.8%)に対し「前年比89.9%」(R5.10～R6.9: 16.0%)であった。 ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金が交付されることにより、十日町市の負担額は、目標「前年比100%を下回る」(R4.10～R5.9: 12,724千円)に対し「前年比85.5%」(R5.10～R6.9: 10,883千円)であった。	・市の広報媒体を活用した周知等を行い、路線の認知度の向上を図る。 ・利用状況を適切に把握し、必要に応じて運行時刻等の見直しを行う。 (特記事項) 路線全体の利用者数は左記のとおり減少しているものの、「浦佐駅東口」及び「魚沼基幹病院」停留所における乗降者数は増加(R4.10～R5.9: 1,341人、R5.10～R6.9: 1,770人)しており、「十日町市内から浦佐駅・魚沼基幹病院までの直通便」としての利用は広がってきている。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月8日

協議会名：	十日町市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	十日町市は新潟県南部に位置し、東は南魚沼市、北は小千谷市、西は上越市、南は湯沢町、津南町などと接している。面積は590.39km²、人口は47,191人(R6.11末現在)である。 当市の公共交通利用者は、人口減少や少子高齢化、モータリゼーションの進展などによって減少傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症による行動変容に伴う利用者の減少や、事業者の経営状況の悪化に伴う路線廃止や減便、運転手の高齢化など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。 このような中、自動車を運転しない高齢者や高校生などにとって、地域公共交通は重要な移動手段であり、今後も確保していかなければならない。また、高齢化の進行や運転免許証の返納など、今後はさらに公共交通サービスの必要性が高まるものと考えられる。 このため、地域公共交通確保維持事業により、地域内交通(十日町市中心部内及び中山間地域内の移動)の役割を担う地域内フィーダー系統を確保・維持し、地域住民の交通手段の存続を図る必要がある。